

仙台市『復興・防災 10DAYS』に参加 ～仙台長町未来共創センターでは防災講演会を開催～

「仙台防災未来フォーラム」(3月4日)と「国際防災フォーラム」(3月10日～12日)の期間の約10日、仙台市が主催となり「復興・防災 10DAYS」開催されました。この期間震災復興や防災への想いをもつ26の企業や行政がイベントに参加、当社(株)フクダ・アンド・パートナーズもイベントの参加し、復興サイクリングイベント、防災講演会を開催いたしました。これらのイベントを通して、震災の経験や教訓を改めて学び防災リバーシブルビルの周知や、防災情報の発信に取り組みました。

【2023年3月4日】 イベント① – 仙台防災未来フォーラムパネルディスカッションへ参加



3月4日、国際センターにて仙台防災未来フォーラムが開催され、プログラムの一つである、仙台市まちづくり政策局主催の「SDGs×防災×都の都シンポジウム」にセンター長千葉がパネリストとして出演しました。シンポジウムには千葉の他、公益社団法人仙台青年会議所理事長 福重祐作氏、ハリウコミュニケーションズ株式会社取締役/総務部長 越路明美氏、プライムバリュー株式会社代表取締役 吉田亮之氏がご登壇。それぞれが取り組むSDGsの事例発表を行った後、パネルディスカッションが行われ、SDGsや防災に取り組むきっかけや取り組んだことによるメリット/デメリット、今後に向けた意気込み等をテーマに4名より様々な意見が飛び交いました。

【2023年3月5日】 イベント② – 震災の地仙台 復興サイクリングイベントを開催

仙台防災未来フォーラムの翌日には、当社内の有志15名による復興サイクリングイベントを行いました。社長の福田を先頭に、岩沼市の千年希望の丘長谷釜公園から仙台市宮城野区蒲生の日和山まで約35kmを自転車にて快走。天候にも恵まれ、自転車初心者スタッフも走り切りました。道中では当社が復旧のお手伝いをさせて頂いた物流施設や、震災遺構となっている仙台市立荒浜小学校、津波の被害にあった閑上地区の慰霊碑に立ち寄り震災当時の状況に思いを馳せました。



道中では当社が復旧のお手伝いをさせて頂いた物流施設や、震災遺構となっている仙台市立荒浜小学校、津波の被害にあった閑上地区の慰霊碑に立ち寄り震災当時の状況に思いを馳せました。

【2023年3月6,8,9,13日】 イベント③ – 仙台長町未来共創センター防災講演会を開催

3月6日、8日、9日、13日の4日間、仙台長町未来共創センターの2Fで防災講演会を開催いたしました。



講演会は全10講演、産官学民様々な立場で防災に関わる方々を講師としてお招きしました。初日の6日は(株)ピーアイ物流企画伊藤様、当社福田社長、(株)東北丸和ロジスティクス平野社長、(株)深松組深松社長がご登壇。伊藤様の救援物資サプライチェーン構築のお話より始まり、福田社長による仙台長町未来共創センター開発の取り組み、平野社長からのAZ-COM丸和グループが展開するBCP物流事業について、そしてアクアイグニス仙台を誘致した深松社長の復興に向けての提言のお話で幕を閉じました。

2日目には、太白消防署小野寺様から、震災当時実際に救助にあたられたご自身の活動を通じての当時の想いや今後の備えについて、仙台市消防局の及川様は女性の視点から、当時の教訓を活かした地域・各家庭での防犯対策と具体的な取り組みについてご講演いただきました。また、3日目は施設正面にクリニックをかまえる枝先生をお招きし、災害当時の医療現場体制やその後の活動についてお話いただきました。両日とも施設周辺の地域住民の皆様にも多くご参加いただき、「実体験に基づくお話で参考になった」「町内会の防災活動に役立てていきたい」など多くの感想を頂戴しました。



最終日となる13日は、東北大学災害科学国際研究所より先生方にお越しいただき、丸谷先生より帰宅困難者対策について、遠田先生より地震発生メカニズム、佐藤翔輔先生からは災害に対する備え等について、ご自身の専門分野をもとにしたお話を頂戴しました。講演には地域の方々のみならず、オンライン配信での聴講者や宮城県外の遠方からの来場者も多くご参加いただき、会場も満席に近い形での講演となりました。

また、講演会期間には、当施設の見学会や、(株)丸和運輸機関様による災害時物流の取り組み等に関するパネル展示も行われ、来場者が施設の設備や展示されているパネルを熱心に見学いただきました。

来場者は延べ500人を越え(うち当社社員延べ170名を含む)、盛況のうちに4日間の講演を終えることができました。今後も地域に寄り添う防災施設として、その役割を全うすべく、情報の発信に努めてまいります。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

仙台防災未来フォーラムとは？

震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、発表やブ

仙台防災未来フォーラム2023

— ここから広げる 防災が身近な世界と未来 —

ース展示、体験型プログラムなどを通じて市民のみなさまが防災を学び、日頃の活動を発信できるイベントとして仙台市が2016年から開催しています。2023年は「ここから広げる防災が身近な世界と未来」をテーマに東日本大震災からの復旧・復興だけでなく、気候変動をはじめとした環境問題や水害など様々なテーマから広い意味での「防災」について知る・考えるプログラムが実施されました。

復興・防災10DAYSとは？

2023年3月4日仙台防災未来フォーラムから、3月10～13日の世界防災フォーラムの間、3月11日を含む



10日間を、市民の皆様に復興や防災、環境配慮について考えていただく機会とするため仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室が主体となり設定されたイベント期間。行政、企業、伝承施設等計25団体が各拠点にて日頃の活動や防災の取り組みについて発信を行いました。

防災講演会来場者の声

- 震災後の72施設の復旧に取り組まれた経験から、地域に添う防災リバーシブルビルとしての取り組みについてよく理解できた
- BCPに対する取り組み概要や意義など大変勉強になった
- 町内会の防災活動に役立てたい
- 震災当時の医療体制の逼迫状況がよくわかった
- 災害時の女性のできること等経験された消防官の話を受けて大変勉強になった
- 震災を直接経験していないが、消防局員の方の体験談を伺い、防災について大変考えさせられた
- 被災者ではあるが当時の医療の現場の状況は知らず、現在の医師会の活動を含め新たに知ることができよかった
- 帰宅困難者対策の中の公助自助共助の取り組みがそれぞれで重要であると改めて認識した

